

天理市 令和5年度 有機農業産地づくり推進事業

堆肥づくり事業委託業務

業務実績報告書

令和6年2月29日

一般社団法人 次代の農と食をつくる会

目次

- 1 事業概要
- 2 事業スケジュール
- 3 業務報告

業務委託事業者について

住所 〒243-0301 神奈川県愛甲郡愛川町角田3001-1

商号又は名称 一般社団法人 次代の農と食をつくる会

代表者氏名 代表理事 千葉康伸

- 1 事業名 有機農業産地づくり推進事業
- 2 委託名 堆肥づくり事業委託業務
- 3 履行場所 天理市内
- 4 履行期間 着手 令和 5年 11月10日
完了 令和 6年 2月29日
- 5 委託代金額 880,000円

1 事業概要

◎本事業の背景

天理市では、中山間地域の循環型農業のモデルとなるオーガニックビレッジの実現につながる取組を推進し、2023年度内での「天理市オーガニックビレッジ」の宣言を目指している。まずは、高原地区（長滝町・福住町・山田町）をモデル地区として、耕作放棄茶畑を活用したオーガニックのお茶の生産・加工に取り組むとともに、そのお茶に合わせる野菜や薬草・ハーブについても、農家、住民及び民間事業者など地域が一体となって、有機農業に挑戦する。

◎本事業の目的

これらの取組を実施するにあたり、地域で出る落ち葉や草木、農業残渣などを地域の有機資源として有効に活用し、環境に配慮した持続性の高い農業に取り組むため、堆肥舎の建築を見据えた堆肥づくりセミナーや地域資源を活用した堆肥の試作に係る指導・助言、及び地域の小中学校と連携した取組を実施する。

◎本事業の実施概要

完熟堆肥づくりの専門家である高谷裕一郎氏（五段農園）を講師に迎え、市民に向けて全三回の連続講座を実施した。

うち二回は座学による概論と、福住町に設置された仮設堆肥舎を使用した改良牛糞堆肥、落ち葉堆肥、馬糞堆肥の仕込みをおこなった。うち一回は中学生を対象として生ごみ堆肥づくりの体験講座を実施した。

また堆肥の仕込みにあたっては、地域資源を活用した試作を前提とし、そのための指導・助言をおこなった。

◎本事業における当社の役割

次代の農と食をつくる会では、令和5年度オーガニックビジネス拡大支援事業を受託し、その活用により天理市の有機農業産地づくり推進事業に対するオーガニックプロデューサー派遣支援をおこなった。当該支援を通じて、農学博士の木嶋利男氏による栽培技術の概論や圃場視察のほか、当社代表理事の千葉康伸による天理市の取り組み全般に対するアドバイスや知見の提供を並行しておこなった。

その一環として、堆肥の製造と利用に関しても専門家から持続可能な技術と知見を導入することを提案したことから、本委託業務においても市の現況に適した適切な事業が展開されるよう、講師の高谷氏との情報連携や、事業内容の調整等を担当した。

2 事業スケジュール

日付	内容	詳細
11月10日(金)	契約締結 事業着手 事業提案	
11月17日(金)	打ち合わせ	次代の会・天理市・高谷氏による
11月27日(月)	打ち合わせ	次代の会・天理市による
12月13日(水)	事業実施日 打ち合わせ	第一回 福住村塾「堆肥のまなび」第一回
1月18日(木)	事業実施日 打ち合わせ	第二回 福住村塾「堆肥のまなび」第二回
2月26日(月)	事業実施日 打ち合わせ	第三回 福住村塾「堆肥のまなび」第三回
2月28日(水)	業務実施報告書の作成	
2月29日(木)	業務実施報告書の提出 事業完了	

3 業務報告

第一回 福住村塾「堆肥のまなび」第一回（全三回）

令和5年12月13日（水）9:00-15:30

9:00-10:00 現地視察

10:00-12:00 座学「福住村塾堆肥の学び」 福住公民館大会議室

13:30-15:30 改良牛糞堆肥と落ち葉堆肥の仕込み WS+質疑応答 天理市福住町4890

参加人数 23名



第二回 福住村塾「堆肥のまなび」第二回（全三回）

令和6年1月18日（木）10:00-15:30

10:00-12:00 第一回の仕込み堆肥の確認及び馬糞堆肥の仕込み 天理市福住町4890

13:30-15:30 座学「福住村塾堆肥の学び」 福住公民館大会議室

参加人数 17名



第三回 福住村塾「堆肥のまなび」第三回（全三回）

令和6年2月26日（月）13:30-16:00 福住小中学校

中学生を対象として、生ごみ堆肥づくりに向けた一次処理用の床材仕込みのワークショップを実施

参加人数 14名（中学生7名を含む）



高谷裕一郎氏 経歴

1977年、秋田県鹿角（かづの）市に生まれ育つ。山形大学農学部から同大学院に進み、土壌中の菌根菌について研究。卒業後、横浜市の種苗会社勤務を経て2015年に岐阜県白川町へ移住、2016年「五段農園」を開業し、有機農法での営農を始める。同年、農林水産省「農業技術の匠（たくみ）」認定者の橋本力男（はしもと・りきお）さん主宰の「コンポスト学校」で学んだことをきっかけに、堆肥の技術を多くの人にとって身近なものにすべく、2020年に「堆肥の学校」を開校。